

宿題、遊び「寺子屋」で

夏休みに合わせ 東根・あそびあランド



夏休み中の子どもたちが遊びと学びに励む「あそびあ寺子屋」が27日、東根市のあそびあランドで始まった。集中して宿題に取り組み、終了後には自然の中で外遊びを楽しむ内容で、NPO法人クリエイティブがしね（同市、菊地和博理事長）が初企画。高校生ボランティアも駆け付け、児童に学習の仕方をアドバイスした。

高校生ら児童の学習手助け

同法人の運営基本理念「遊び」「共育」を美辞「遊育」「共育」を美辞する家庭教育・若者支援プロジェクト推進事業として企画した。市小学校長会・市PTA連合会が協力し、教員も参加。子どもたちの自由な遊びを重視したあそびあランドについて教員に知ってもらおうと、高校生が丁寧に解説して手

助けた。宿題を終えた児童は先生が広がる屋外へ飛び出し、元気に汗を流した。

東根中部小3年の加藤悠之君（8）は「算数と理科を勉強した。家にはテレビを見たり、ゲームをしたりしちゃうけど、いつもより集中してできた」と話していた。

あそびあ寺子屋は27、29日と30月1、2日の計5日間開催する。28日から同市の中高一貫校・東根学館の生徒によるボランティアサークル「3peace」も指導役として参加する。

（小林達世）

集中して夏休みの宿題に取り組み児童

東根市・あそびあランド